

お年寄りが自由に集う場～おかえりい～

九十九里町（松木 加津江・二葉 久枝）

認知症カフェ「おかえりい」は、九十九里町だけでなく、近隣市町のお年寄りが自由に集う憩いの場所です。自宅の別宅で運営するのは、平塚 三鈴さん68歳。

平塚さんは、認知証サポーター、生活支援コーディネーターなど豊富な知識を生かし、お年寄りの生活をサポートしています。また、民生委員として地域のお年寄りの見守りや、地域包括支援センター事業の運営にも携わり活躍されています。

おばあちゃん子だったという平塚さんは、「お年寄りみんな自分のじいちゃんばあちゃんのような感覚」とおっしゃいます。「おかえりい」の運営の中で一番うれしいのは、メンバーが休まず来てくれる事、食事を残さず食べてくれることだそうです。メンバーとはこまめに連絡を取り合い、多忙な平塚さんのご家庭はというと、ご主人は食事の用意、洗濯などはすべて自分でされるそうです。「お互い自立し、自由にやりたいことをやっているのが、家族の円満と元気の秘訣だ」と力強く語ってくれました。そんなバイタリティーあふれる平塚さんから元気をもらった取材でした。



平塚 三鈴さん

こちよい、こころよい、地域のための保健師を目指して

山武市（諏訪富美江）

今回は、山武市役所の保健師として活躍されている男性職員の、堀川 騎央さんと福留 圭人さんの2名を取材しました。



堀川 騎央さんと福留 圭人さん

お2人とも、保健師になったきっかけは、病気になる前の段階に対応していくことで防ぐことができる保健師としての役割に魅力を感じたからとのこと。

まだまだ女性が就くことが多い職種ではありますが、お2人とも抵抗はなく周囲と協力して業務を進めることができているとのこと。

近年のコロナ禍で保健師の業務も増えつつありますが、お2人とも、「人とのつながりやふれあいを大切に“誰もがその地域で楽しく元気に、その人らしく暮らしているように”ということをもっと真摯に取り組んでいきます」と目を輝かせておりました。「ジェンダーレス社会」を実現するために、その第一歩として、お2人のさらなる活躍を期待したいと思います。

願いは皆の幸せ、それを築くため今も…

大網白里市（今井 静子・塚田 みえ子）

「おはよう。元気にいってらっしゃい。」

小学校の校門の横断歩道で、今日も内山 明子先生の元気な声が響く。

内山先生は、教員としてたくさん子ども達と豊かな時間を過ごし、後年は女性管理職としてご活躍されました。退職後の現在は、子ども達の通うデイケア施設に勤務される傍ら、交通安全推進隊をはじめ、人権擁護委員、学校運営協議会委員、行政相談員等々の活動にも従事されています。

「女性職員が安心して妊娠、出産、子育てができるように、いろいろな制度が設けられ、仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備が進んでいる。先輩たちががんばって獲得してきた権利をこれからも大切に行使していただきたい。男性職員の育児休暇も当然の権利としてとれる社会になってほしい」と力強い。

今日も生き生きと、子ども達とともにある先生のご活躍を期待しています。



人権教育に取り組む、内山 明子さん

今年で30年目を迎えた、ボランティアサークル「おはなしやさん」。メンバーの子が通う小学校の家庭



「おはなしやさん」のメンバーの皆さん

教育学級で保護者が演じた人形劇がきっかけとなり、有志でサークルを立ち上げました。保育園や福祉施設などで、人形劇や大型紙芝居の公演を行っています。

子ども達に語りかけるように、一人ひとりの心の声を大切にしながら演じることで、子ども達はお話の世界に引き込まれていきます。

子ども達の喜ぶ顔を見ると、メンバーの皆さんの演技にも力が入るそうです。

また、仕事や家事を両立しながらこれまで活動を続けてこられたのは、ご家族の温かい協力とメンバー同士のチームワークがあるからこそだとおっしゃっていました。そして、これからの目標を伺うと、「たくさんの人を笑顔にできるよう、いつまでもいきいきと細く長く活動していきたい」と語ってくれました。

新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、3年ぶりの公演に向け、練習にも熱が入っていました。

憩いの場所「ツクリテ」

芝山町（石井 正恵）

シャッターが閉まる店舗が増える中、ソーイング教室を立ち上げて、洋裁を学ぶ場としてはもちろん、地元の皆さんの憩いの場としての役割も果たしている藤永 歌織さん取材させていただきました。

Tukurite(ツクリテ)代表の藤永さんは都内の服飾専門学校・大学を卒業後、都内のデパート勤務のキャリアを生かし、いつかソーイング教室を開きたいと思っていたそうです。

子育てとの両立は、ご家族に協力してもらいながら藤永さん自身も寝る間を惜しんで努力されたそうです。その経験から、女性が起業するには行政の子育てサポートや、起業する人への助成金やサポート制度があると、ありがたいとおっしゃっていました。

現在はソーイング教室と手芸用品、雑貨の販売をされていますが、芝山町を盛り上げようと、町キャラクターの「しばっくん」のグッズも積極的に販売されています。

これからの目標は、託児所付きのカフェやサロンのような子育て中のお母さん達が集まれる場所をつくることだそうです。明るくバイタリティー溢れる藤永さんのこれからの活躍が楽しみです。



藤永 歌織さん

～第10回発行記念によせて～

男女共同参画だよりは、今号で第10号目、記念すべき10周年を迎えました。

今後も、一人ひとりが自分らしく輝ける海匝・山武地域を目指して、私達、男女共同参画地域推進員は活動していきたいと思えます。

千葉県男女共同参画地域推進員(海匝・山武地域)
リーダー 石川 安子

<発行>

千葉県男女共同参画地域推進員(海匝・山武地域)

<事務局>

千葉県男女共同参画センター

〒260-0001 千葉市中央区都町 2-1-12

TEL : 043-420-8411 FAX : 043-420-8581

公式 Twitter : chibakensankaku